

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： アジア世界文化遺産の高精細デジタル化研究
代表者名： 井手 亜里
所属機関名： 京都大学

コメント

本提案は、これまでに代表機関によって開発された世界最高水準のイメージング技術を利用し、アジア・アフリカ諸国の世界的文化遺産の保存・活用に取り組むものである。

アジア・アフリカ諸国では文化財の保存・活用が急務となっている。本提案では当該地域の研究機関と国際的な科学技術コミュニティを構築し、文化財のデジタル化に関する日本の最先端科学技術を世界に向けて発信することによって、世界文化遺産の保存・活用のための国際研究基盤の構築と日本発の国際標準技術の創出を目指す。文化財のアーカイブという重要なテーマに取り組み、アジアの文化財保存への貢献が期待される提案として評価される。

なお、研究を進めるにあたっては、本研究ネットワークを通じて実際の文化遺産のデジタル化をどう進めるか、より綿密かつ具体的な計画の立案が望まれる。加えて、得られた成果をどのように公開しアピールしてゆくか、その方法などにも十分に留意して展開されることを望む。